

平成 27 年度 東北大学大学院環境科学研究科  
人文・社会科学系群博士課程前期2年  
入学試験問題

専門科目  
(外国人留学生等特別選抜)

環境社会人類学

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
2. 問題の印刷不鮮明に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
3. 問題冊子1部(5頁)、解答用紙(6枚)及び草案用紙(2枚)を配布します。
4. 各解答用紙の「受験番号」欄には、受験番号のみを記入し、氏名は記入しないでください。
5. 所要時間は、90分(13:00~14:30)です。
6. 問題用紙は、持ち帰らないでください。

以上

平成 27 年度 東北大学大学院環境科学研究科 人文・社会科学系群

博士課程前期 2 年の課程・秋季入学試験問題

専門科目	環境社会人類学	1 / 5
------	---------	-------

下記の問題 1 から問題 4 のすべてに答えなさい。

問題 1. 次の文章を読み、問 1 ~ 問 8 に答えなさい。

人物 A (男性) の世帯は、以下の 8 名から構成されている。A、A の妻 B、A と B の長男 C とその妻 D、C と D の娘 E、A と B の次男 F とその妻 G、F と G の息子 H、以上である。また A と B にはその他に娘 I がいるが、I はその夫 J、J の父 K、J の母 L、I と J の息子 M、娘 N とともに別個の世帯を構成している。A の父 O ならびに母 P は既に死去しているが、L は O と P の娘であり、A と L は兄弟姉妹関係にある。

問 1 この文章に登場する 16 名の人物 A ~ P の親族・婚姻関係を、人類学において一般的に用いられる方法で図示しなさい。

問 2 C にとって、G は親族・婚姻関係上では次のいずれに該当するか、(ア) ~ (エ) の中からひとつ選んで記号で答えなさい。

(ア) Z、(イ) WZ、(ウ) BW、(エ) SW

問 3 A の世帯をひとつの家族とみなすとき、その形態は次のいずれに該当するか、(ア) ~ (エ) の中からひとつ選んで記号で答えなさい。

(ア) nuclear family、(イ) stem family、(ウ) patrilineal extended family、(エ) matrilineal extended family

問 4 この文章に登場する婚姻例から判断して、この社会は次のいずれに該当すると考えられるか、(ア) ~ (エ) の中からひとつ選んで記号で答えなさい。

(ア) neolocal residence、(イ) duolocal residence、  
(ウ) matrilocal residence、(エ) patrilocal residence

問 5 この文章に登場する婚姻例から判断して、この社会は次のいずれに該当すると考えられるか、(ア) ~ (エ) の中からひとつ選んで記号で答えなさい。

(ア) polygyny、(イ) polyandry、(ウ) polygamy、(エ) monogamy

平成 27 年度 東北大学大学院環境科学研究科 人文・社会科学系群

博士課程前期 2 年の課程・秋季入学試験問題

専門科目	環境社会人類学	2 / 5
------	---------	-------

問 6 I と J の婚姻は次のいずれに該当するか、(ア) ~ (エ) の中からひとつ選んで記号で答えなさい。

- (ア) patrilateral cross-cousin marriage
- (イ) patrilateral parallel-cousin marriage
- (ウ) matrilateral cross-cousin marriage
- (エ) matrilateral parallel-cousin marriage

問 7 この社会で上記「問 6」のような婚姻が選好される場合、最下位世代の婚姻として好まれるのは次の(ア) (イ) のいずれと考えられるか、記号で答えなさい。

- (ア) E と M、(イ) H と N

問 8 I と J の婚姻に際し、A の世帯から K の世帯へ移動する財産を何と呼ぶか、次の(ア) ~ (エ) の中からひとつ選んで記号で答えなさい。

- (ア) bride wealth、(イ) bride price、(ウ) dowry、(エ) deme

平成 27 年度 東北大学大学院環境科学研究科 人文・社会科学系群

博士課程前期 2 年の課程・秋季入学試験問題

専門科目	環境社会人類学	3 / 5
------	---------	-------

問題 2. 次の英文を読んで、問 1 ~ 問 3 に答えなさい。

Ethnography is the art and science of describing a group or culture. The description may be of a small tribal group in an exotic land or a classroom in middle-class suburbia. The task is much like the one taken on by an investigative reporter, who interviews relevant people, reviews records, weighs the credibility of one person's opinions against another's, looks for ties to special interests and organizations, and writes the story for a concerned public and for professional colleagues. A key difference between the investigative reporter and the ethnographer, however, is that whereas the journalist seeks out the unusual – the murder, the plane crash, or the bank robbery – the ethnographer writes about the routine, daily lives of people. The more predictable patterns of human thought and behavior are the focus of inquiry.

(中略) The ethnographer also begins with biases and preconceived notions about how people behave and what they think – as do researchers in every field. Indeed, the choice of what problem, geographic areas, or people to study is in itself biased. Biases serve both positive and negative functions. When controlled, biases can focus and limit the research effort. When uncontrolled, they can undermine the quality of ethnographic research.

(David M. Fetterman, *Ethnography: Step by Step*. 2<sup>nd</sup> Edition. Sage Publications. 1998 より)

問 1 民族誌研究における調査対象について説明している箇所を抜き書きしなさい。

問 2 ジャーナリストと民族誌家の違いについて説明している箇所を抜き書きしなさい。

問 3 民族誌家の偏見と先入観は、どのような条件において好ましい効果を發揮するかについて説明している箇所を抜き書きしなさい。

平成 27 年度 東北大学大学院環境科学研究科 人文・社会科学系群

博士課程前期 2 年の課程・秋季入学試験問題

専門科目	環境社会人類学	4 / 5
------	---------	-------

問題 3. 以下の文章を読んで、問 1 ~ 問 3 に答えなさい。

採集狩猟民の研究に関連して、必ず議論に登場するのは、伝統主義<sup>(ア)</sup> と歴史修正主義の論争である。伝統主義では、採集狩猟社会は自給自足、自己完結の閉鎖的なものであり、そのルーツは遠い古にさかのぼるものだとみる傾向が強い。(中略) 伝統主義の解釈では、先史時代の生き証人とされる採集狩猟社会にあまねくみられる平等性<sup>(イ)</sup> や分配・再分配、などの制度や慣習は、「文明」以前の、人類の原形を表現するものだとされている。(中略) 一世を風靡した伝統主義の解釈に対して、1980 年代に登場する歴史修正主義が鋭い反論を加えた。それによれば、現在の採集狩猟民は、「文明」の発展から取りのこされた周辺的な存在である。また、現在の採集狩猟民は先史時代の生き残りとは暴論であり、彼らが営む採集狩猟活動のあり方は、展開していく「文明」<sup>(ウ)</sup> によって環境的な周辺に追いやられた、この数百年の間に出現した、きわめて新しい現象であると説く。

(スチュアート ヘンリ編『採集狩猟民の現在』言叢社、1996 年より)

問 1 下線部（ア）「伝統主義」はどのような言い換えが可能か、「○○主義」という形で答えなさい。

問 2 下線部（イ）について、採集狩猟民研究における「平等性」とはどのような社会的制度か、説明しなさい。

問 3 下線部（ウ）は具体的に何を意味しているのか、説明しなさい。

平成 27 年度 東北大学大学院環境科学研究科 人文・社会科学系群

博士課程前期 2 年の課程・秋季入学試験問題

専門科目	環境社会人類学	5 / 5
------	---------	-------

問題 4. 次の語句の中から 2 つを選び、それぞれ 300 字程度で説明しなさい。

- ① 文化変容 (acculturation)
- ② 上座仏教
- ③ 史的唯物論
- ④ ポトラッヂ